

第30回「出光音楽賞」

出光音楽賞実行委員会
出光興産株式会社
株式会社テレビ朝日

第30回「出光音楽賞」

「出光音楽賞」は出光興産株式会社主催の音楽賞で、主にクラシックの音楽活動を対象に、若手・新進音楽家の育成という観点から意欲、素質、将来性、昨年度の活躍などに重きを置き、顕彰してまいりました。選考の結果、第30回「出光音楽賞」(2019年度)の受賞者3名が決定いたしました。受賞者にはそれぞれ賞状、ならびに賞金300万円が贈られます。

また、8月24日(火)東京オペラシティ コンサートホールにて、「出光音楽賞受賞者ガラコンサート」が開催され、授賞式が行われます。そのコンサートの模様はテレビ収録され、テレビ朝日系で放送される予定です。

第30回「出光音楽賞」受賞者と主な受賞理由は下記のとおりです。

(五十音順/敬称略、年齢は2020年12月31日現在)

記

《主な受賞理由》

■ ^{さとう}佐藤 ^{はるま}晴真 (チェロ/22歳)

日本人で初めてミュンヘンコンクール優勝という業績、文字通り音楽的にも熟した演奏だった。

■ ^{はっとり}服部 ^{もね}百音 (ヴァイオリン/20歳)

近年の活躍が著しく、受賞にふさわしい。心の深い音楽的に豊かな力を持っている。

■ ^{ふじた}藤田 ^{まお}真央 (ピアノ/21歳)

2019年チャイコフスキー国際コンクールで第2位という結果に値する素晴らしいアーティストである。

佐藤 晴真 (チェロ) Haruma Sato



佐藤 晴真

1998年2月27日愛知県名古屋市生まれ。

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。2018年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも全日本学生音楽コンクール第1位および日本放送協会賞、日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位、アリオン桐朋音楽賞など、多数の受賞歴を誇る。

すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。NHKテレビ、NHK-FMにもたびたび出演。2018年8月、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。2019年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。今後もプラハ放送響など国内外のオーケストラに招かれており、リサイタル、弦楽四重奏など室内楽公演も予定している。

2020年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses～ブラームス作品集～』をリリース。

これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にて J=P.マインツ氏に師事している。

2013年東京都北区民文化奨励賞受賞。2015年ヤマハ音楽振興財団奨学生。2016年度東京藝術大学宗次特待奨学生。2018年ロームミュージックファンデーション奨学生。2020年、音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される若手チェリストに贈られる、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。ベルリン在住。

【今後の抱負】

この歴史ある賞を頂けたことに誇りを持ち、今後もひたむきに音楽への探究を続けていきたいと思えます。

服部 百音 (ヴァイオリン) Moné Hattori



1999年9月14日東京都港区生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め、幼少期より辰巳明子、ザハール・ブロンに師事。8歳でオーケストラと初共演し、2009年にポーランドでのリピンスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールで史上最年少第1位を受賞。10歳より演奏活動を始め11歳でミラノのヴェルディホールでリサイタルを行いグランドデビュー。13年にヤング・ヴィルトゥオーゾ国際コンクール、同年ノヴォシビルスク国際ヴァイオリンコンクールシニア部門を13歳で飛び級エントリーし史上最年少グランプリを受賞、15年にボリス・ゴールドシュタイン国際コンクールでグランプリを受賞。16年10月「ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ワックスマン:カルメン 幻想曲」でCDデビューし、レコード芸術の特選盤に選出される。17年新日鉄住金音楽賞、岩谷時子賞、18年アリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、20年ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞を受賞し21年1月にはブルガリ アウローラ アワードを受賞した。現在はN響、読響、東フィル、東響、日フィルをはじめとする数々の著名オーケストラ、指揮者と共演を重ね海外でもマリインスキー劇場をはじめ様々な演奏活動を行っている。21年3月に桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマコースを修了。21年6月30日には、第2作となる最新CD『リサイタル』を発売。ロームミュージックファンデーション奨学生。

使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のガアルネリ・デル・ジェス。

公式ホームページ<https://mone-hattori.com/>

【今後の抱負】

この賞を頂いた事を重く受け止め、今後とも音楽と対峙しながら更に深く掘り下げた音作りに励んで参ります。

服部 百音

藤田 真央(ピアノ) Mao Fujita



1998年東京都新宿区生まれ。東京音楽大学卒業。

2019年6月チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。審査員や聴衆から熱狂的に支持され、世界中に注目された。2017年には弱冠18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。2016年には浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第1位に輝くなど、国内外での受賞を重ねている。

2019/2020シーズンは、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演しロンドン・デビュー。同団日本公演では、急な代役としてチャイコフスキー：ピアノ協奏曲第2番を演奏。多くの聴衆を魅了し指揮者やオーケストラからも讃辞を受けた。

これまでにルール音楽祭、ナントのラ・フォル・ジュルネに参加。2020年7月には、オンラインで開催されたヴェルビエ音楽祭のプログラム「ヴェルビエ・ジェネレーション～音楽祭が見つけた若き才能～」に抜擢され、リサイタルが世界中に配信された。

2020/2021シーズンは、ミュンヘン・フィルとの共演、ヴェルビエ音楽祭での《モーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲演奏会(5回)》などに出演。国内ではオーケストラとの共演、各地でのリサイタルとともに、春からは3年5回にわたり行う《モーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲演奏会》をスタートさせた。

ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第49回奨学生。

2020年、有望な若手に贈られる「第21回ホテルオークラ音楽賞」「第30回出光音楽賞」を受賞した。

【今後の抱負】

今回の受賞を心の支えとし、世界へ羽ばたき、多くの人に愛される音楽家になれるよう頑張りたいと思います。

藤田 真央

出光音楽賞

(1990年創設)

主催 : 出光興産株式会社
後援 : 株式会社テレビ朝日
運営主体 : 出光音楽賞実行委員会

● 理事会

理事長 : 木藤 俊一 (出光興産 代表取締役社長)
副理事長 : 丹生谷 晋 (出光興産 代表取締役副社長)
副理事長 : 亀山 慶二 (テレビ朝日 代表取締役社長・COO)
理事 : 寺上 美智代 (出光興産 執行役員)
理事 : 北村 奈美 (出光興産 執行役員 広報部長)
理事 : 武田 徹 (テレビ朝日 取締役副会長)
理事 : 浜島 聡 (テレビ朝日 常務取締役)
理事 : 西 新 (テレビ朝日 取締役)

● 選考委員会 (五十音順)

委員 : 秋山 和慶 (指揮)
委員 : 池辺 晋一郎 (作曲)
委員 : 石田 一志 (音楽評論)
委員 : 海野 義雄 (ヴァイオリン)
委員 : 木村 かをり (ピアノ)
委員 : 木村 俊光 (声楽)

● 「第30回出光音楽賞」推薦委員 (五十音順)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 池田 卓夫 (ジャーナリスト) | 16 中村 孝義 (音楽美学・西洋音楽史) |
| 2 伊藤 恵 (ピアノ) | 17 西村 朗 (作曲) |
| 3 伊原 直子 (声楽) | 18 野平 一郎 (作曲) |
| 4 梅津 時比古 (評論) | 19 花房 晴美 (ピアノ) |
| 5 岡本 美智子 (ピアノ) | 20 樋口 隆一 (評論) |
| 6 小栗 まち絵 (ヴァイオリン) | 21 古部 賢一 (オーボエ) |
| 7 金山 茂人 (オーケストラ) | 22 星野 学 (ジャーナリスト) |
| 8 加納 民夫 (オーケストラ) | 23 松崎 裕 (ホルン) |
| 9 荻田 雅治 (チェロ) | 24 三橋 貴風 (邦楽) |
| 10 北爪 道夫 (作曲) | 25 水野 みか子 (作曲・音楽学・音楽情報論) |
| 11 国土 潤一 (声楽・評論) | 26 宮下 博 (ジャーナリスト) |
| 12 佐々木 典子 (声楽) | 27 田中 隆文 (邦楽) |
| 13 澤 和樹 (ヴァイオリン) | 28 悠 雅彦 (ジャズ) |
| 14 寺田 悦子 (ピアノ) | 29 横川 晴児 (クラリネット) |
| 15 徳永 二男 (ヴァイオリン) | |

出光音楽賞歴代受賞者

(★は出光音楽大賞、第5～7回のみ選出)

<第1回> (1991年)

伊東 乾 (作曲)
柿沼 唯 (作曲)

勝部 太 (ハルトン)
豊嶋 泰嗣 (ヴァイオリン)
沼尻 竜典 (指揮)

<第7回> (1997年)

★大野 和士 (指揮)
榎本 大進 (ヴァイオリン)

児玉 桃 (ピアノ)
浜田 理恵 (ソプラノ)

<第13回> (2003年)

神尾 真由子 (ヴァイオリン)
ジョン・健・ヌッツォ (テノール)
望月 京 (作曲)

<第19回> (2009年)

日下 紗矢子 (ヴァイオリン)
篠崎 和子 (ハープ)
谷口 睦美 (メゾ・ソプラノ)

<第25回> (2015年)

周防 亮介 (ヴァイオリン)
本條 秀慈郎 (三味線)
三浦 一馬 (バンドネオン)

<第2回> (1992年)

坂井 千春 (ピアノ)
佐渡 裕 (指揮)
夏田 昌和 (作曲)
原田 節 (オントマルト)
向山 佳絵子 (チェロ)

<第8回> (1998年)

伊左治 直 (作曲)
木ノ脇 道元 (フルート)
小沼 純一 (学術研究)
竹松 舞 (ハープ)
永野 英樹 (ピアノ)

<第14回> (2004年)

川久保 賜紀 (ヴァイオリン)
中嶋 彰子 (ソプラノ)
松永 貴志 (ジャズ・ピアノ)

<第20回> (2010年)

荒 絵理子 (オボエ)
河村 尚子 (ピアノ)
三浦 文彰 (ヴァイオリン)
宮田 大 (チェロ)

<第26回> (2016年)

川瀬 賢太郎 (指揮)
藪田 翔一 (作曲)
山根 一仁 (ヴァイオリン)

<第3回> (1993年)

小野 隆浩 (音響デザイン)
猿谷 紀郎 (作曲)
竹澤 恭子 (ヴァイオリン)
吉村 七重 (二十絃箏)
若林 顕 (ピアノ)

<第9回> (1999年)

梯 剛之 (ピアノ)
斎藤 充正 (学術研究)
佐藤 美枝子 (ソプラノ)
西本 智実 (指揮)
福井 敬 (テノール)

<第15回> (2005年)

佐藤 俊介 (ヴァイオリン)
中野 翔太 (ピアノ)
横坂 源 (チェロ)

<第21回> (2011年)

片岡 リサ (箏)
南 紫音 (ヴァイオリン)
山田 和樹 (指揮)

<第27回> (2017年)

荒木 奏美 (オボエ)
小林 沙羅 (ソプラノ)
反田 恭平 (ピアノ)

<第4回> (1994年)

菅 英三子 (ソプラノ)
須川 展也 (サクソフォン)
長木 誠司 (学術研究)
戸田 弥生 (ヴァイオリン)

<第10回> (2000年)

井原 秀人 (ハルトン)
岩野 裕一 (学術研究)
庄司 紗矢香 (ヴァイオリン)
鈴木 大介 (ギター)
古部 賢一 (オボエ)

<第16回> (2006年)

亀井 良信 (クラリネット)
木下美穂子 (ソプラノ)
田村 響 (ピアノ)

<第22回> (2012年)

金子 三勇士 (ピアノ)
塚越 慎子 (マリンバ)
萩原 麻未 (ピアノ)

<第28回> (2018年)

上野 耕平 (サクソフォン)
岡本 侑也 (チェロ)
辻 彩奈 (ヴァイオリン)

<第5回> (1995年)

★オーケストラ・アンサンブル金沢
(室内オーケストラ)
大西 順子 (ジャズ・ピアノ)
村治 佳織 (ギター)
矢部 達哉 (ヴァイオリン)

<第11回> (2001年)

大井 浩明 (ピアノ)
村中 大祐 (指揮)
森 麻季 (ソプラノ)

<第17回> (2007年)

菊池 洋子 (ピアノ)
小菅 優 (ピアノ)
小山 裕幾 (フルート)

<第23回> (2013年)

黒川 侑 (ヴァイオリン)
西村 悟 (テノール)
福士 マリ子 (ファゴット)

<第29回> (2019年)

牛田 智大 (ピアノ)
郷古 廉 (ヴァイオリン)
LEO [今野 玲央] (箏)

<第6回> (1996年)

★白井 光子 (メゾ・ソプラノ)
権代 敦彦 (作曲)
曾根 麻矢子 (チェンバロ)
二村 英仁 (ヴァイオリン)

<第12回> (2002年)

岡田 将 (ピアノ)
下野 竜也 (指揮)
藤村 実穂子 (メゾ・ソプラノ)

<第18回> (2008年)

大萩 康司 (ギター)
小出 稚子 (作曲)
米元 響子 (ヴァイオリン)

<第24回> (2014年)

小林 美樹 (ヴァイオリン)
成田 達輝 (ヴァイオリン)
挾間 美帆
(作曲・編曲・ピアノ)

<第30回> (2020年)

佐藤 晴真 (チェロ)
服部 百音 (ヴァイオリン)
藤田 真央 (ピアノ)